



VOL.169
NOV.2013

かしわ市議会だより

第 169 号

平成 25 年 5 月

発行 柏原市議会

編集 市議会だより編集委員会

柏原市 安堂町1番55号

電話 972-1501(代表)

FAX 971-8932

Eメール gikai@city.kashiwara.osaka.jp

第6回

議会報告会

みんなで柏原を考えよう！

5/10 (金) 午後 7 時～8 時 30 分

第1会場：太平寺老人集会所 太平寺2-18-16

第2会場：石川町第二老人集会所 石川町6-53

5/12 (日) 午前 10 時 30 分～12 時

第1会場：市民プラザ(アゼリア)大会議室 上市1-2-2

第2会場：国分図書館 田辺1-3-7

●第1会場担当：小西、橋本、奥山、大坪、田中、藤森、計盛、鶴田、中野

●第2会場担当：石橋、山田、山本、岸野、中村、堅木、寺田、乾

度第1回定例会



日から3月8日までの18日間の会期で開かれました。

案25件、議員提出議案8件が提出され慎重に審議しました。

長になるため義務的経費中心の*骨格予算になっています。

体が、最低限必要な経費を盛り込んで編成する予算。通常より規模の小さな当初予算案を作る。

平成25年度一般会計予算

修

正

昨年第1回定例会において、三市のごみ最終処分場跡地である竜田古道の里山公園の維持管理費は、柏原市単費ではなく柏羽藤環境事業組合からの出資を求める附帯決議をしたところである。しかしながら、平成25年度当初予算において、組合からの出資がないまま、予算が計上されたことは、認められないものである。また、亀の瀬地区（国の管理地である地すべり防止区域）の草刈業務委託料についても、これまで、ボランティア作業で行うため費用は発生しないと説明を受けていたにもかかわらず、説明と異なり予算が計上されたことは、認められないものである。

よって、16,498千円を減じる修正案を全会一致で可決した。（内訳は左欄）



平成24年度一般会計
補正予算（第8号）

◆一般会計から柏原病院会計へ繰り入れ

【3億5千万円】

24年度の病院経営において赤字が見込まれることから、一般会計から繰り入れた。

平成25年

平成25年度第1回定例会は2月19
本定例会には、25年度予算を含む議
なおこの予算は、3月11日から新市

※骨格予算とは、新年度に市長選挙を控えた自治

賛成討論

議員提出議案第4号 柏原市議会議員定数条例の一部改正についてに対し、賛成の立場から討論を行う。議員定数は、我々議員にとって、また、市民の皆様にとっても非常に大きな問題であることは言うまでもない。議会報告会においても、市民の皆様から、議員定数を減らせ、議員定数を減らすな等、さまざまなご意見をいただいた。我々の考える今日の議員の役割は、市民の声を直接市政に伝えるだけでなく、より高度で専門的な機能を果たすことが求められている。行政をチェックし自らも政策提案を行うという議会の権能を十分に発揮し、

市民の方々にに対し、開かれた議会の実現に向けた取り組みが必要であり、また施策・事業の有効性をチェックし、めざす将来都市像の実現に向け議会として危機感を持って取り組んでいかなければならない。議員定数については、我々議員が自らの責任において決めるべきものである。議員全員研究検討会で白熱した議論を重ねてきた。各議員からそれぞれ意見が出され、現状維持の18名とする案、2名減の16名とする案、3名減の15名とする案に分かれ議論に議論を重ねたが意見の一致を得ることができなかった。しかし可能な限り意見調整した結果、多数派意見として、1名削減の17名とするにいたった。これは議員の責任において成案を得るためそれぞれが歩み寄った結果である。

認められない予算

- * 竜田古道の里山公園維持管理費
5,562,000円
- * 公園緑地課事務費の嘱託職員報酬の内
3名増員分 6,136,000円
- * 亀の瀬地区草刈業務委託料
4,800,000円

反対討論

今、柏原市民の皆さんの生活は大変です。現役世代は子育て・教育費がかさむ中で所得が減少しています。また、年金暮らしの方は毎年年金下がらる中、ひかれる国民健康保険料や介護保険料の負担が重くなり、多くの市民の皆さんは苦しんでいます。今、柏原市議会に必要とされていることは、議員が市民の立場に立って住民の声を取り上げ、また市政をしっかりとチェックし、開かれた市政にし、税金の無駄遣いをなくすことにより、市民生活を守っていく、市民要望を実現させていくことです。定数削減は多様な住民の意見や少数意見の排除につな

がり、逆に議会本来の持つべき機能を低下させ、結果的に市民の皆さんにもっとも身近な議会とのパイプを細くし、市民の皆さんの声が届かなくなってしまう。執行機関側からすれば議員の定数が少なくなるほど多数派をつくりやすくなり、その結果どんな提案をしても半数以上の議員が賛成すれば提案はすべて可決されます。その提案がたとえ、市民負担増や市民サービスの低下を招くものでもまた、市民が求めている税金の無駄遣いの事業であつてもです。今、柏原市議会が議会の本来の役割である議会力を向上させ、住民の声をしっかりと受け止めた政策提案機能や執行機関に対する批判、監視機能を強化させるための改革に取り組んでいる中で、議会の力を弱めることになる定数を削減すべきではない。

反対討論

議員提出議案第4号「柏原市議会議員定数条例の一部改正について」の議員定数の削減には何ら異議は無く、削減数が現行の18名から1名しか減員されないことに対して反対の立場で討論を行います。平成21年の市議会議員選挙において、議会改革、特に議員報酬削減・議員定数削減を市民とお約束いたしました。特に、議員定数削減については、先般、区長会からの要望もあり、さらには、議会報告会における市民の声として「議員が多すぎる」との意見を議会人として真しに受け止め、最低でも3名の削減を行い、議員

定数を15名に改正し、市民要望に應えるべきではないかと思ひます。柏原市の平成20年度と平成25年度の市税収入を比較しますと、長びく不況により14億5千6百万円も落ち込み、来年度以降も回復が見込めない状況であります。我々議員もこの財政状況がひつ迫している中において、唯一できることは、厳しい環境の変化への対応ではないでしょうか。今回の議員定数削減の提案は単に議員定数を1名削減しただけで、市民が熱望する議会及び議員にも痛みの伴った改革の第一歩ではないと思ひます。議員一人ひとりが削減分以上に汗をかき、働くことこそ民意に應えるものであり、そのためには3名の議員数を削減すべきであることを表明し反対討論いたします。

市立柏原病院の

今後の運営について

自由民主党政新会

問 市立柏原病院の予算編成を行う上で市立柏原病院改革プランとの整合性を問う。

答 予算編成にあたり、平成24年度決算見込みを算定基礎とし、入院収益については年間病床稼働率を10%アップし80%、入院診療単価を5%アップし40,090円と見込み算定した。外来収益については、年間延べ患者数を10%アップし133,704人、外来診療単価を7%アップし8,890円と見込み算定した。これら平成25年度当初予算額は、現在見直しを行っている。

る「市立柏原病院新改革プラン」に基づく施策の実行を前提として算定している。具体的には、①救急告示の許可申請②「消化器センター」の設置③慢性期やターミナル患者の受け入れ病床の設定④大阪府がん診療拠点病院の申請等である。これら施策の平成25年度中の実現に向けて、院内ワーキンググループを立ち上げ、課題の検討及び体制の整備に着手している。現場の意見を吸い上げ、職員の参加意識を高め職員が一人となり経営の安定化を図り地域の基幹病院としての役割を果たして参る。

要望 新改革プランの目標を達成するには、医師の充実など、解決しなければならぬ様々な問題があると思うが、職員の努力により、市民に信頼され、経営的にも自立できる病院となることを要望する。

なぜ！国の土地「亀の瀬地区」の草刈

費用を市で負担させられるのか！

柏原維新の会

問 なぜ、亀の瀬の草刈業務を平成25年度予算の企画費で措置しているのか。

答 国の地すべり対策工事が最終段階に入り、平成26年度には工事が完了し、大阪府に移管される。市は土地の上面利用を申し入れているが、野菜の直売所や多目的野外ステージ、来場者の駐車場の整備も無くなり現在計画されているのは、地すべりを観測する集中管理施設のみである。市の計画も「自然あふれる市民の憩いの場」としてNPO法人等との協働で、レモンの苗木

2,200本等を植樹してきたため企画費調査事業で草刈費用480万円を計上した。

問 道の駅もダメ、野菜の直売所もダメ、来訪者の駐車場までダメになった。現在計画されているのは集中管理施設のみとなっている。そのような中で柏原市がなぜ維持管理費を負担するのか、市民のメリットは。

答 森の再生、緑の再生、市民や市周辺住民の憩いの場を目的としている。

問 担当から、国の草刈費用は、一度で3,800万円と聞いた。レモンの販売で一億数千万円の草刈費が捻出できるのか。

答 レモンの販売利益を社会福祉協議会に渡したいと思う。

要望 維持管理費は膨大であり、本来の管理責任は、国、府にある。市民の負担にならないように協議をされたい。

市立柏原病院の

具体的な改革が進む

公明党

問 市立柏原病院の人間ドックセンターの実績見込みと来年度予測について問う。

答 平成24年度実績見込みは、1,400人（5,200万円）、平成25年度予測は、1,600人（6,000万円）である。

問 人間ドック受診者の内、再検査を必要とされた方の割合を問う。

答 高齢者の受診が多く、3割〜4割の方が再検査を受けている。

問 国の胃がんの対策として「ピロリ菌」除菌を保険適用するが、新たに開設する「消

化器センター」での対応を問う。

答 「ピロリ外来」対応が可能である。

問 慢性期やターミナル（終末期）患者の受け入れや「大阪府がん診療拠点病院」の申請や救急病棟の告示について問う。

答 慢性期患者や終末期患者の受け入れを検討している。



こども医療費助成制度の

拡充を

日本共産党

問 こども医療費助成制度を中学校卒業まで拡充する考えについて。

答 財政状況や事業効果等を踏まえ、検討していく。

要望 事業効果では、都道府県で先駆けで群馬県が中学校卒業まで入院・通院とも医療費の無料化を2009年から始め、昨年7月に保護者にアンケートを実施した。意見では、「早期に十分な治療が受けられることは重症化を防ぎ、他のお子さんへの感染を予防しているはずである。少子化対

策にもなるうえ、子どもたちの将来の健康につながると思う。」などの声があげられている。また、「こども医療費助成事業は、どのような点で、生活に役立っているか。」の問いに対しては、「子育て家庭の経済的負担が軽減される。」は71.5%。「安心して早期に治療が受けられ、子どもの健全な成長が促進される。」は67.9%と経済的負担の軽減と早期治療に効果があるとの結果がでている。このように事業効果があるからこそ入院では、近隣の八尾・藤井寺市で中学校卒業まで拡充されている。通院では、富田林・寝屋川市で小学校卒業まで。大東・門真市で小学校3年生までと各自自治体が拡充している。入院であれば、中学校卒業まで拡充するための予算は80万円である。柏原市でも拡充することを要望する。

5,562,000円の竜田古道の

里山公園維持管理費について

市民・民主クラブ

問 竜田古道の里山公園維持管理費について問う。

答 公園事務所に中心となる嘱託職員1名、光熱水費、公園の維持補修用原材料等々である。

問 本会議で岡本市長の答弁を聞き、現在、市長の考えと、議員の考えが同じであることを理解した。竜田古道の里山公園の土地を柏原市にもらうつもりはないこと、公園の維持管理費は柏羽藤環境事業組合で負担すること、という内容である。平成22

本会議・委員会を 傍聴しませんか

本会議・委員会開会当日、受付にて受付簿に住所・氏名等を記入するだけで簡単に傍聴できますので、お気軽にお越しください。

なお、一般傍聴者の定員は、本会議20名、委員会10名です。

傍聴の詳しい方法やわからない点等がありましたら、下記までお問い合わせください。

議会事務局 972-1501 (代表)
内線3111・3113

○次回本会議・委員会の日程については、
8ページをご覧ください。

庁舎施設管理費について 会派に属さない議員

問 本年度予算に市役所本館庁舎の耐震対策に関する予算がないが、24年度予算で実施した耐震診断の結果を問う。

答 すでに業者の診断は終わっており、現在、一般財団法人大阪建築防災センターによる診断結果の判定を待っているところである。

具体的な耐震化方法については、議員と

幼児教育について 会派に属さない議員

問 柏原市一般会計予算の教育費の幼稚園費に関連して、新年度の公立幼稚園の募集人員と入園希望者数について問う。

答 平成25年度の入園者数は、定数770名に対し希望者は291名、率にして37・8%と減少している。そのため、「柏原市幼児教育審議会」を設置して公立幼稚園の運営について諮問している。

問 緊急通報システム事業について問う。
答 本市では、1人暮らしの高齢者の安全確保のため、緊急通報システム設置事業を実施している。このシステムは、高齢者の方が体に不調を感じたとき、通報ボタンを押すとコールセンターへつながり、状況確認を行うとともに、親族や民生委員に対象者宅への訪問を依頼することとなっており、緊急通報システム事業について問う。

緊急通報システム事業委託料について 会派に属さない議員

問 緊急通報システム事業について問う。
答 本市では、1人暮らしの高齢者の安全確保のため、緊急通報システム設置事業を実施している。このシステムは、高齢者の方が体に不調を感じたとき、通報ボタンを押すとコールセンターへつながり、状況確認を行うとともに、親族や民生委員に対象者宅への訪問を依頼することとなっており、緊急通報システム事業について問う。

問 緊急通報システム事業について問う。
答 本市では、1人暮らしの高齢者の安全確保のため、緊急通報システム設置事業を実施している。このシステムは、高齢者の方が体に不調を感じたとき、通報ボタンを押すとコールセンターへつながり、状況確認を行うとともに、親族や民生委員に対象者宅への訪問を依頼することとなっており、緊急通報システム事業について問う。

関係各部署の職員との検討会的なものを立ち上げ、今後のあり方について、協議、検討を進めたい。

要望 庁舎施設整備事業は22年度に予算が組まれていたが、予算公開ヒアリングで26年度以降に先送りされている。財政が厳しいのはどの自治体も同じである。立派な建物を造れとは言わないが、多くの職員が働き、多くの市民の利用する市の中核施設である市役所を、安全な場所にしていただくことを要望する。

問 入園希望者が減少しているのなら公立幼稚園において、市民が望んでいる3歳児も対象に幼児教育は出来ないのか問う。
答 現行のまままで3歳児を募集しても、園児数の増加は見込めないと考えられる。さらに、教職員の増加、施設整備等、新たな財政負担も生じ厳しい状況となる。

要望 審議会において公立幼稚園だけではなく、過去の固定概念にとらわれない幼稚園と保育所を有効に活用した幼保一元化も協議していただくことを要望する。

り、緊急の場合には救急隊の出勤を要請する。この事業は、高齢者への見守り活動の一つとして非常に有効であると考えている。

問 他の自治体では、新聞販売店と連携し、高齢者の安全確認を行っているところもあるようだが、本市では可能か。

答 議員からご提案いただいた新聞配達員を活用した「あんしん通報システム」についても、今後検討して参る。

要望 「あんしん通報システム」について検討していただくよう要望する。

竜田古道の里山公園調査特別委員会

委員長報告(2月19日、3月8日)概要

公園維持管理事業の嘱託職員等の作業内容等に疑問があること、また、NPO法人かしわらふる里づくりの会との随意契約の領収書等がずさんであることから2班に分けて調査し、さらに、疑惑の解明等のため、2月26日、4人の参考人を招致した。

参考人意見等から、本来の予算執行の目的外であるサンヒル柏原や亀の瀬での草刈り、高尾山での道標の設置、堅上小学校プールでの草刈り、岡本市長宅の枯れ葉の収集、NPO法人かしわらふる里づくりの会現理事長宅の植木の下草刈り等の作業、サンヒル柏原のゆかた祭りのテントの設置をしたことなどの話をお聞きした。

また、公園内に廃棄されていた消防自動車解体し、そのスクラップを売却し、得た金額を慰労会の費用に充てていた。これらすべてが、理事長の指示であった。

また、公園以外の場所の作業中に、骨折等のけがが2回起こり、内1件は、労災保険の適用を受けていなかった。このような危険な作業を、担当課を越えて、民間人の理事長が公務従事者に指示し、事故が起こっても、結果的に自分の健康保険で処置させたずさんな管理体制を許していた。

理事長と岡本市長の親密な関係は、先に、理事長が、くわしく説明したとおりであり、岡本市長は、事実上、現場におけるアルバイト職員等の作業内容や、人事管理について、理事長に権限を委ねており、それ故、担当課は、何事も、異議を唱えることができなかったのではないかと。このことがNPO法人のずさんな使途に繋がっていた。

平成19年7月11日、エアコン2台設置の領収書78万2千2百50円、同年12月10日、電気工事領収書27万8千4百60円が、理事長の判断で、理事長の知り合いの同一会社を支払われ、公共の建物の電気工事が、民

間人の判断で市の委託料を使って、何の検査も受けずに行われた。平成20年4月30日、寄附を受けた車輛の修理費用として、現金23万円が理事長に支払われた。修理内容等は不明で、その後、その車輛は廃棄された。平成20年11月20日、10トンダンブ7台の真砂土11万2千円、翌年5月19日、10トンダンブ58台の真砂土85万円が、見積りも取らず、請求どおり委託料から支払われた。相当な土の量、ダンブの往来にもかかわらず、証拠写真等書類が一切無く、他に目撃証言等もなく、確認できない。平成21年9月2日、19万4千2百円、翌年5月12日、40万4千4百85円でダチョウを購入したが、死に絶えている。岡本市長と理事長との相談の上の事業であると聞いたが、生き物を無計画に買われた結果である。

4件の、NPO法人のずさんな支出は、すべて、市の委託料からである。問題とすべきは、このNPO法人の作業内容や支出に対し、市職員の誰一人として異議を言うことができなかったということである。

本来、環境事業組合が公園整備することにした3市のごみ処分場跡地に関して、岡本市長の思いつきで、この跡地を自由に使用したいため、すなわち、後に問題となるイノシシやダチョウ肉の加工販売、レモン果実等の植樹・販売等のためと推測しているが、柏原市に無償譲渡するという覚書を、地元や議会と相談無く、半ば強引に環境事業組合と交わし、この跡地に対する業務が柏原市に移ったこと、また、これらの事業を展開させるため、NPO法人を設立させ、さらに亀の瀬にまで事業用地を広げ、不明朗な多額の資金を投入したことについて当委員会は調査をし、覚書の破棄等を訴えてきた。当の岡本市長は、最後までこの覚書、一連の事業等について、本会議の答弁と裏腹に、真剣に解決しようと思わず、柏原市民の大きな負担として残ることは、まことに残念である。

当委員会としては、6月定例会の最終報告に向け、調査を続行してまいりたい。

3月議会で決めたこと

- ◇専決処分報告(損害賠償の額の決定及び和解について)について(報告)
- ◇専決処分報告(平成24年度柏原市一般会計補正予算(第7号))について(承認)
- ◆監査委員の選任につき同意を求めることについて(無記名投票の結果、賛成2人、反対14人)(不適任)
- ◇人権擁護委員(西早苗氏)の推薦につき意見を求めることについて(適任)
- ◇平成25年度柏原市一般会計予算(修正可決)
- ◇平成25年度柏原市国民健康保険事業特別会計(事業勘定)予算
- ◇平成25年度柏原市国民健康保険事業特別会計(施設勘定堅上診療所)予算
- ◇平成25年度柏原市公共下水道事業特別会計予算
- ◇平成25年度柏原市介護保険事業特別会計予算
- ◇平成25年度柏原市後期高齢者医療事業特別会計予算
- ◇平成25年度柏原市市立柏原病院事業会計予算
- ◇平成25年度柏原市水道事業会計予算
- ◇市道の路線認定について
- ◇平成25年度柏原市水道事業会計資本剰余金の処分について
- ◇嘱託員等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について
- ◇地域社会における共生の実現に向けて新たな障害保健福祉施策を講ずるための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について
- ◇柏原市国民健康保険条例の一部改正について
- ◇柏原市新型インフルエンザ等対策本部条例の制定について
- ◇柏原市道路占用料条例の一部改正について

- ◇平成24年度柏原市一般会計補正予算(第8号)
- ◇平成24年度柏原市国民健康保険事業特別会計(事業勘定)補正予算(第3号)
- ◇平成24年度柏原市国民健康保険事業特別会計(施設勘定堅上診療所)補正予算(第1号)
- ◇平成24年度柏原市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)
- ◇平成24年度柏原市市立柏原病院事業会計補正予算(第2号)
- ◇平成24年度柏原市水道事業会計補正予算(第1号)
- ◇柏原市議会委員会条例の一部改正について
- ◇柏原市議会会議規則の一部改正について
- ◇柏原市議会政務調査費の交付に関する条例の一部改正について
- ◇職員の退職手当に関する条例等の一部改正について
- ◇柏原市国民健康保険条例の一部改正について
- ◇平成24年度柏原市一般会計補正予算(第9号)
- ◇平成24年度柏原市水道事業会計補正予算(第2号)
- ◇柏原市議会議員定数条例の一部改正について(賛成12人【自由民主党新政会、公明党、柏原維新の会、市民・民主クラブ、会派に属さない議員1名】、反対4人【日本共産党、会派に属さない議員2名】)
- ◇議会の議員の議員報酬、費用弁償等に関する条例の一部改正について(以上、原案可決)

- *採決で賛否が分かれた場合は、会派名、又は議員氏名のいずれかを掲載します。
- *一般採決では、可否同数にならないかぎり、議長は採決に加わりません。



議員定数と報酬を削減！

定数と報酬の適正なあり方について、これまで色んな講習会へも参加し、一昨年以来、議員全員で研究検討会を開催し、議論を重ねてきたところであります。

また、この間、各地区16会場において、議会報告会を開催し、定数と報酬について多くの市民の方からも、多種多様なご意見を頂いております。

各議員から定数については、現状維持の18名、2名減の16名、3名減の15名などとする案、また、報酬についても10%カットや条例より、3万円、4万円、5万円減額する案などに分かれ、意見の一致を得ることが出来ませんでした。

しかし、議員の責任において成案を得るため、可能な限り意見調整をし、それぞれの思いのある中、定数は、1名減の17名に、報酬は、5万円減額とする条例改正案を議員提案することとし、3月定例本会議において、定数については、賛成12名、反対4名、報酬については、全議員賛成（いずれも議長除く）で可決致しました。

柏原市の議員数の推移

年度	13	17	21	25
人口	78,590	77,100	75,131	72,956
議員数	22	20	18	17

柏原市と同規模の人口5万人～10万人の市の状況

市 名	議員数	人 口（H24.4.1）	議員一人当たりの市民数
貝 塚 市	20	90,496	4,524
摂 津 市	22	84,414	3,837
交 野 市	15	78,539	5,235
泉 大 津 市	18	77,294	4,294
柏 原 市	17	73,346	4,314
藤 井 寺 市	16	66,698	4,168
泉 南 市	18	64,984	3,610
高 石 市	17	59,448	3,496
大阪狭山市	15	57,685	3,845
阪 南 市	16	57,680	3,605
四 条 畷 市	12	57,270	4,772

近年の削減額

年度	月 額	ボ ー ナ ス	削減額(年間)
21	± 0	△459,250	△459,250
22	± 0	△580,250	△580,250
23	△20,000	△667,150	△907,150
24	△30,000	△505,200	△865,200
25	△50,000	△600,000	△1,200,000

柏原市の平成20年度を基準として計算した場合の削減額を示しています

*大阪府下平均の議員月額報酬は、約57万9,000円で、柏原市の50万円は、府下32市中（大阪市除）29番目の金額となります。



去る2月3日に告示されました
柏原市議会議員補欠選挙において、
2名の議員が無投票当選されまし
た。

本年2月19日に行われました第1回市議会定例会(第1日)におきまして、常任委員会、特別委員会、議会選出の派遣議員・委員の一部が変更になりました。

新たに、選任、選出された議員は次のとおりです。
なお、議会運営委員会は、1名欠員となっています。

総務文教委員会委員 山田 匠

建設産業委員会委員 山田 匠

//
委員 小西 篤

広域行政特別委員会 委員 小西 篤

まちづくり特別委員会 委員 山田 匠

議會改革特別委員會委員長計盛佐

副委員長 田中

委員 小西 篤

柏原羽曳野藤井寺消防組合議会議員 山田 隆

藤井寺市柏原市学校給食組合議会議員 小西 篤

柏原市民文化会館市民劇場委員会委員 小西 篤

柏原市土地開發公社顧問 小西 篤

<http://www.city.kashiwara.osaka.jp/gikai/>

